

いちばら 市民ネットワーク通信



県議会議員
山本友子



市議会議員
小沢 みか



市議会議員
森山かおる

facebook

twitter

e-mail: i.shimin-net@muse.ocn.ne.jp
ホームページ http://ichihara-net.com/

〒290-0073

市原市国分寺台中央 7-1-5 C1 ☎: 0436-21-1907 Fax: 0436-21-9073

発行: いちばら市民ネットワーク 代表 桑田尚子

ホームページは
こちらから



2019年6月2日 市議選 候補予定者決定!

私たちは、共に活動する仲間から信頼できる人を議会に送り出してきました。選挙の度に新人を加え、今回は守田さおりさんを含めて、3人でチャレンジします。



3期目に挑戦!

小沢みか

あなたとの対話をかたちに



私たち市民ネットワークは
1990年9月、市民活動の中から
誕生した地域政党です

- 議員も市民も、共に考え、知恵を出し合い「政策」を作ります。
- 声を上げにくい高齢者・子ども・障がい者の声に耳を傾けてきました。



新人

守田さおり

誰もがありのままに
暮らせる地域へ



議会で、真摯にきっぱり
発言してきました

- 旧庁舎の建て替えでは、議会で唯一当初計画の見直しを訴え、変更させることができました。
- 長期財政計画に公共施設の更新や統廃合の経費を反映させるように求めました。



2期目に挑戦!

森山かおる

支え合い認め合う社会を



女性の想いを
市政に届けます

- 学童保育、児童館の必要性を初めて訴え、子育て中のお母さんが孤立しない仕組みを作りました。
- 人口流失が止まらない市原市で、若い女性が住み続けたいと思えるまちづくりを進めていきます。



今こそ真の自治を市原から

県議会議員 山本友子

「国・県・市町村は上下関係でなく対等」と言われます。しかし実態はどうでしょう。

市議、県議として壇上に立ち、答弁で何度も耳にしたのが「国の動向を見て」という言葉でした。ヒラメのように上の様子を窺い、交付金、補助金頼みで行政運営しているのが地方の実情と言わざるを得ません。

一方、全国を見ると、郷土愛に満ちた知事や市町村長がリーダーシップを取って国にモノ申し頑張っているところがたくさんあります。議会が頑張るって市民要望の高い政策を議員主導で条例化している議会もあります。

今回、県議選で候補者を立てなかった事はほんとに申し訳なく思っています。市議選は3人の候補者を立てました。広い知見と経験を積んだ3期目、深い洞察力に満ちた2期目、そしてパワフルな新人の3人です。

もともと市原を元気にしたい、市民活動のしやすい街になってほしい、市議会も活性化したい、そんな願いを込めて選挙戦を頑張ります。

これまで通り市民ネットワークの政策は、市民の声を集めてつくります。どうぞお声をください。しどし市民ネットにお寄せください。

市民ネットワークはここがちがう!

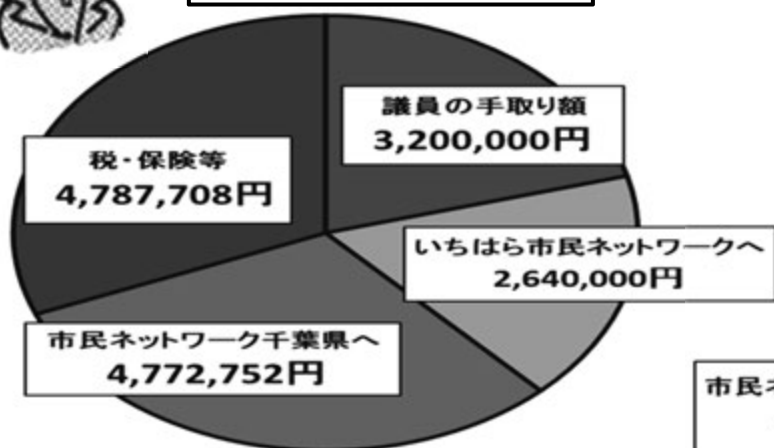
議員報酬の3割~5割を市民と共に活動する費用に充てています。また議会が終わるごとに市政報告(市民ネットワーク通信)を発行し、各地で報告会を開催しています。



市民ネットのお財布事情

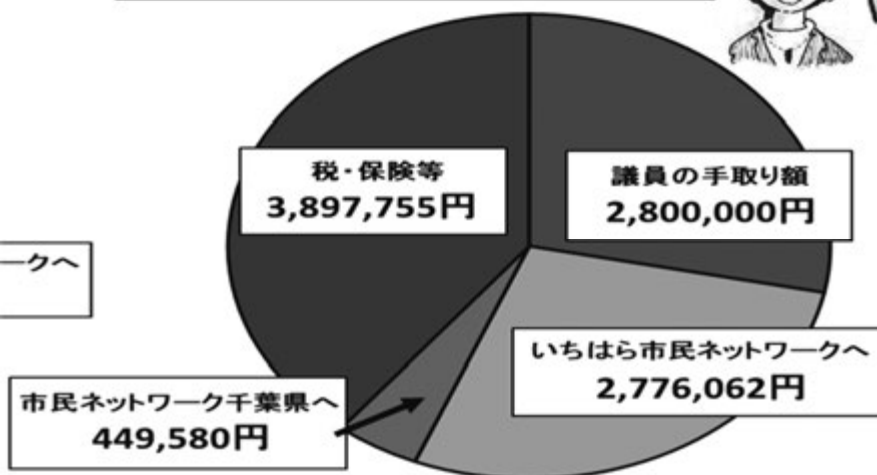


県議 山本友子の場合
議員報酬 2018年
15,399,860 円/年



—議員報酬の使われ方

市議 小沢みか・森山かおるの場合
議員報酬 2018年
1人 9,923,397 円/年



*この他に政務活動費があります

政策調査研究等の活動のために議員報酬とは別に支給される費用です。県議の政務活動費は480万円(年額)、市議の政務活動費は120万円(年額)です。市原市議会ではインターネットで用途を公開しています。

市原市で

市民ネットワークは4年間でこんなことを実現しました!



防災

- 備蓄品に哺乳瓶やミルク、アレルギー対応食など細やかな視点が加わった。
- 「いちはら防災100人会議」に障がい者の参加が実現した。
- 市原特別支援学校が福祉避難所に指定された。

教育

- スクールソーシャルワーカーの有効性を訴えた結果、活用実績が県内一になった。
- 公立幼稚園の入園資格から「集団生活ができる幼児」という規定が撤廃された。

福祉・医療

- 鶴舞循環器病センターの移転・縮小計画をいち早く取り上げ、阻止できた。
- 地域包括ケアシステムの早期実現を訴え、組織体制が整備された。
- ユニバーサルスポーツ・ポッチャの普及が促進された。
- 五井駅前に車椅子用駐車場が整備された。

まちづくり・行政改革

- 旧庁舎の建て替え問題の課題を指摘し、計画が見直された。
- 新庁舎でワンストップ相談窓口が設置された。
- 市民参加による市の事業点検が実現し、行政改革が一步前進した。
- 水道事業経営の問題点を指摘し、事業の広域化等、抜本的な見直しが始まった。

子育て支援

- ネウボラ(産前産後の切れ目のない子育て支援)を支える保健師を増やした。
- 児童発達支援センターの複数化に向け検討が始まる。

女性の活躍

- 女性職員の登用が遅れている市原の実態を指摘し、女性管理職が増えた。
- 女性の活躍や転出抑制の視点を踏まえた計画の見直しが始まった。

お知らせ

山本友子 の県議会傍聴

2/18(月)10:00~

集合:9時45分 千葉県議会棟入口

最後の会派代表質問です。お誘いあわせの上お越しください。

ボランティア 募集

☆あなたのお力をお貸しください

*ポスティング *チラシ折り *友達紹介 など
3月11日から土・日・祭日も事務所を開けています。